

平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 聖カタリナ大学 実施報告書



実施主体 人間健康福祉学部3年生畔地ゼミ

実施内容 平成25年10月26日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

児童虐待に関する情報を収集、整理した。本ゼミには、日本人学生および韓国人留学生がおり、日韓の状況についても互いに報告しあった。

大学祭に訪れる子どもや大人が見て分かりやすい掲示にするよう工夫をしながら当日の展示物等を作成した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的内容

来場者に、子どもに向けたメッセージを書き込んでもらい、ボードに貼っていき、メッセージボードを完成させた。そのメッセージを多くの人に見てもらい、子どもに託す思いや夢を共有してもらった。さらに、子どもとゼミ生の共同作業で、折り紙のメダルをつかった。大人向けには、オレンジリボンに加え、児童虐待防止のチラシや葉を配布して意識喚起をした。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

今回実施するにあたり、多くのことを調べたり、議論し、今まで以上に児童虐待について理解を深めることができ、児童虐待防止への関心がより高まった。

また、大学祭当日は、オレンジリボン等の配布を通じて、多くの方々に関心を持っていただけたと実感している。

大学祭後には、ゼミ内で今回の活動の事後評価を行ったが、来年度は更なる工夫をして、親子がリラックスできて、かつ、オレンジリボンの意味が伝わるように工夫したいとの意見が出た。

